

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 29 年 (2017)

皇紀 2677 年

大宮八幡祭り(秋の大祭)号【第109号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

啐啄同時ということ	2 頁
大宮八幡祭り(秋の大祭)のご案内	3 頁
十五夜の神遊び	4 頁
御鎮座 950 年式年記念事業 竣功奉告祭齋行	5 頁
杜の話題	6～10頁
大宮八幡の杜 秋も深まり	11頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	12・13頁
大宮八幡祭り社頭風景	14頁



大宮幼稚園園児民謡踊り奉納 (9月16日)

本年も去る7月30日、第32回神輿合同宮入りの打合せ会が開催され、8月1日には恒例の祭典委員会が開催されました。いよいよ平成29年度の大宮八幡祭りに向けた諸準備が始まります。

平成25年の御鎮座九百五十年式年を迎えるに当たり、平成24年2月4日奉賛会実行委員会が開かれ、式年大祭を始め奉祝行事や記念事業を実施するべく奉賛会が結成されました。

記念事業は、バリアフリー化を中心とする境内整備事業を進めるべく、経済的に厳しい中で氏子6地区の各々の目標額を定めて頂き、実行委員の方々のご尽力により、氏子の皆様を始め崇敬者各位からの赤誠の真心籠る奉賛の浄財募金活動が展開されました。

お蔭様で春の式年大祭、秋の奉祝大祭を始め、小笠原流流鏑馬神事を中心に、各種奉祝行事を盛大にご奉納頂きました。

記念事業は、御社殿バリアフリー化整備として、北側にスロープ設置工事を中心に、東濃檜を用材として、銅板屋根葺の外拝殿南北両翼廊が新設され、両石階段ともにクネット手摺りや、東濃檜材に依る、擬宝珠付き高欄も増設されました。

又、一手建立で表参道入口に大幟ポールや、表参道一之鳥居、二之鳥居の石階段にも各々高欄風手摺りとクネット手摺りが設置されました。

更に振武会門人の皆様のご奉賛により、弓道場振武殿



更に振武会門人の皆様のご奉賛により、弓道場振武殿

の屋根葺替と増改築工事が行われました。

又、清涼殿では各階の階段にクネット手摺りが設置され、ロビーの床面及び階段のカーペットがオリジナルデザインにより張替えられ、亀の間も壁・床面ともにリニューアルされました。

中でも錦上花を添えて頂きましたのは、平成27年11月神宮御装束神宝4点の御下附の通知でした。当宮式年の平成25年は、第62回神宮式年遷宮の年でもあり、その御神縁を頂き、予てより神宮司廳ご当局へ神宮撤下御神宝の御下賜を願ひ出ておりました。そうして12月25日、責任役員2名様にご同行頂き、神宮司廳へ出向致し、下附式では神宮大宮司様より

そったくどうじ 啐啄同時ということ

り目録の御下附を頂き、神宮撤下御装束神宝4点を拝受致して参りました。

此度のこれらの式年記念事業は、大宮八幡宮の未来に続く永い歴史の一通過点として紡いだ事になりますが、大きな足跡として語り継がれて行くことでありましょう。

遅くなりましたが、8月9日に御鎮座九百五十年式年奉祝記念事業(第一期)竣功奉告に併せて、奉賛金芳名石碑建立奉告祭を斎行致し、芳名石碑竣功清祓並びに除幕式のと、竣功祝賀会が開催されます。

ここに奉賛会実行委員の皆様のご労苦と、ご浄財をご奉賛頂きました多くの氏子・崇敬者ご関係の皆様にご心から深甚なる感謝を申し上げます。

なる感謝を申し上げます。

さて、小生が裏千家淡交会東京第6東支部の支部長を仰せ遣っている関係で、毎年明治記念館で支部懇親茶会が開催されておりますが、その学校茶道と青年部の立礼席のお床に掛ける軸の揮毫依頼がありました。それは「啐啄同時」ということばでありました。出典は禅宗の「碧巖録」で、意味は鶏の卵がかえるとき、殻の中で雛鳥が外に出ようとして、内からコツコツと殻をつつく音を「啐」といい、母鶏がその孵化の瞬間

宮司 鎌田紀彦

を悟り、殻の外をコツコツとつき破ることを「啄」といい、その「啐」と「啄」が同時であることをいいます。そのことから禅宗では、師家と弟子の働きが合致することを念頭に修業に励んでおります。

そのことは茶道の場合でも、師弟関係の理想とされている言葉であります。又夫婦間や朋友、主従間の機をのがさない一如一体の素晴らしい働きでもあり、のがしたらまたとない得がたい良い時機を表現したことはなのです。

私どもの神ながらの道でも、祓に於て、自分自身の力で祓い清めて清浄になるものではなく、同時に神々に祈り、神々の御神威に依って、清浄な状態にならせて



頂くという謙虚な心情が神々と御心を通わせ、いのちのよみがえりともなり、明日への活路が開かれて参ります。

又、ご神前で祈願に祈るのではなく、その時だけの心願成就を祈るのではなく、以後もご加護を祈り、日々精進努力することによって、やがてご神威を頂き、願意が成就するのです。

今年の第32回神輿合同宮入りも、外拝殿前の聖なる広場で繰り広げられる9基一体の神輿振りは、大宮八幡祭りの中でも、最も圧巻であります。エネルギー溢れる能動的なパワーは、担ぐ人々も陪観の人々も神々と一体であることを体感して頂くことの出来るひとときであり、神人合一の境地へと高められるひとときでもあります。又、最後に当番神輿の「き」が入ると、一瞬にして「動」から「静」に移るこの瞬間も、将に「啐啄同時」の神業と感じとらせて頂いております。

神々もより若々しく清々しく甦られる八幡大神様の廣大無辺なご神威を感じて頂く大宮八幡祭りに、多くの方々にご参詣を頂き、心安らかに安らぎのある日々をお過ごし頂くことを願って止みませぬ。

(平成29・8・4記)

大宮八幡祭り(秋の大祭)

例祭、氏子奉幣祭、第32回 神輿合同宮入り



祓所にて修祓(15日)

神事草鹿式など、期間中は様々な神賑行事が奉納されます。清涼殿ロビーでは9日より18日まで、重陽の節句菊被綿飾りが再現展示されます。

17日夕刻午後6時、木遣りの音頭を合図に

17日、夕闇迫る午後6時、江戸消防記念会第9区8番組の衆による木遣りの音頭を合図に、神輿が一斉に八幡通りを本社大宮八幡宮に向けて発輿。一の鳥居、二の鳥居と進み、詰めかけた大勢の参拝者で賑わう表参道を進み、やがて神門を通って大前に参入。社殿前に9基が揃い一斉に繰り広げられる神輿振りは、将に城西第一といわれる勇壮さ。平素静謐な神域は、この時ばかりは興奮の増増と化します。



猛暑も落ち着き、風そよぐ爽りの秋を迎え、恒例の**大宮八幡祭り(秋の大祭)**が行われます。本年はまず9月15日午前10時には神社本庁より献幣使参向のもとに**例祭**を斎行、秋の爽りの感謝と皇室と国家の安泰を祈念します。翌16日夕刻6時には**宵宮祭**を斎行。17日午前10時より**氏子奉幣祭**が行われます。大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区より寄せられた赤誠こもるご浄財が氏子幣として大前に奉獻されます。氏子各地区の神輿の社参もあり、さらに夕刻6時の**第32回神輿合同宮入り**では暗闇の中、氏子6地区9基の神輿が一斉に宮入りして祭りは最高潮に達します。このほか16日には大宮幼稚園園児の民謡踊り・方南エイサー・杉並太鼓の各奉納、また17日午後には小笠原流宗家による弓の

大宮八幡祭り期間中の祭事

例祭	9月15日
菊被綿神事	9月8日夕刻〜翌朝
神輿神霊入れ祭	9月14日
若宮八幡神社	
白幡宮 例祭	9月14日
各神幸所清祓・宮司巡拝	9月16日
宵宮祭	9月16日
氏子奉幣祭	9月17日
第32回神輿合同宮入り	9月17日
神輿神霊返し祭	9月18日
後朝祭(直会ノ儀)	9月18日
神賑行事	
第19回菊被綿飾り奉納書行燈	9月9日〜18日
献燈提灯	9月9日〜18日
秋の弓道奉納射会	9月3日
第4回フォトコンテスト作品展	9月15日
奉茶(裏千家) 〔淡〕東京第7西支部	9月15日
大宮幼稚園園児神輿宮入り	9月15日
第39回献華いけばな小原流展	9月15日
盆栽展示会	9月16日
大宮幼稚園園児民謡踊り	9月16日
方南エイサー踊り	9月16日
杉並太鼓	9月16日
スカウトバザー	9月17日
町内神輿渡御・社参(昼間)	9月17日
スカウト神輿宮入り	9月17日
小笠原流草鹿式	9月17日
高井戸囃子	9月17日
野点茶会(裏千家) 〔淡〕東京第7西支部	9月17日
舞楽(佼成舞楽会)	9月17日
露店「120店」	9月16日〜18日

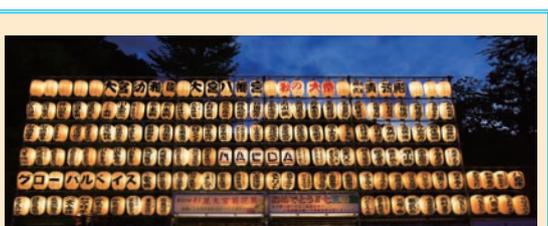
第17回 十五夜の神遊び(仲秋祭)

10月7日

第19回 重陽の節句飾り

きくのきせわた
菊被綿

重陽とは陽数の極みである9が重なるという意で、この頃に咲く花が菊であることから9月9日が菊の節句とも呼ばれ、毎年この日より菊被綿飾りを清涼殿で展示公開しています。菊は、古代中国では仙境に咲く花で破邪延寿の効能があると信じられ、平安時代前期の宇多天皇の御代に「菊被綿」として宮中行事に取り入れられ、幕末まで行われていました。重陽の節句の前日の9月8日、菊の花に各々白、赤、黄の真綿で覆って菊の香りを移し、9日早朝に朝露で湿った真綿を顔にあてて若さを保とうとするものです。当宮では、**菊被綿神事**を8日夕刻に斎行し、翌日の朝御饗祭にこの菊被綿を奉献いたします。又、**菊被綿飾り**を9月9日より18日まで清涼殿で公開展示します。



※複数燈でも承ります

献燈提灯奉納のご案内

大宮八幡祭り（秋の大祭）の期間中多くの参拝者をお迎えするに当たり、皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出し、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂きたく存じております。

つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

掲出期間 9月9日から10月7日まで
 初穂料 一燈一〇、〇〇〇円
 申込締切 9月2日

（郵送は1日必着）

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

第17回 十五夜の神遊び

旧暦8月15日

日の十五夜に合わせて、第17回十五夜の

神遊びが10月7日に斎行されます。

十五夜の神遊びは平成13年より

催されてお

り、夕刻にはまず陪観の

人々等によつて竹燈籠約1200基に火

が灯され、仲秋祭が斎行されます。その後、

神楽殿では雅楽や神楽舞の奉奏に続いて、

月の音舞台となります。演奏は昨年引き続き

引き続き広く国内外で注目を集める尺八奏者「き乃はち」氏です。

き乃はち氏の尺八の調べは、月明りにすだく虫の音と

もに鎮守の柱に響き渡り心に深く染み渡りま

す。また、清涼殿ではこの日に

因んだ特選料理「月見御膳」

を「月見の宴」にご賞味いただきます。

月見の宴も催されます。



「月見の宴」のご案内

清涼殿では、「十五夜の神遊び」に因んだ特選料理「月見御膳」をご賞味頂く「月見の宴」を月の音舞台奉奏後（午後8時頃より）開催します。

名月を愛で、古式ゆかしい雅楽・神楽の調べや尺八の演奏をお楽しみ頂いた後、十五夜の雅と幽玄の余韻の中、「月見の宴」をお楽しみ頂きますようご案内申し上げます。

定員になり次第締切りとなりますので、お早めにお申し込み下さい。

※雨天でも「十五夜の神遊び」「月の音舞台」は行われます。

【月見御膳】◎御神酒付

お一人様 5,900円（税込）

『月の音舞台陪観指定席』含む

限定100名



お申し込み・お問い合わせは

大宮八幡宮清涼殿まで

03(33312)7515

御鎮座九百五十年式年記念事業竣工奉告祭を斎行 奉賛者芳名碑清祓・除幕式も

当宮では平成25年、御鎮座九百五十年式年の嘉年を迎え、奉賛会実行委員会のもと九百五十年式年大祭や小笠原流流鏑馬神事など祭典行事、またバリアフリー化などの記念の境内整備事業に取り組んでまいりましたが、このほどその第1期事業の完遂を見、去る8月9日、記念事業竣工奉告祭を斎行、併せて奉賛者芳名碑清祓を奉仕のあと竣工祝賀会が催されました。

竣工奉告祭は事業奉賛者ら92名が参列して午前10時より齋主以下祭員奉仕により社殿にて齋行、献饌のあと齋主が祝詞を奏上して、大前に事業の無事完遂をご奉告、次いで浦安の舞のあと宮司、実行委員長が参列員を代表して



玉串拝礼、撒饌のあと祭典を修了しました。

次いで南参道に新たに設けられた奉賛者芳名碑の竣工清祓・除幕式を斎行、黒御影石二枚岩に奉賛者473名が刻まれた芳名碑が大麻、切麻にて祓い清められた後、宮司、五本木実行委員長、御来賓、副実行委員長等11名により紅白の祝いの綱を引き、除幕の儀を執り行いました。

竣工奉告祭・芳名碑除幕式に続き午前11時10分より清涼殿にて御鎮座九百五十年式年記念事業竣工祝賀会が開催されました。



竣工祝賀会和やかに

祝賀会はず藤枝副実行委員長の開会の辞で式典を開始し国歌斉唱、神宮遙拝、神酒拝戴に続き宮司挨拶、「式年記念事業を悠久の大宮八幡宮の歴史の一つの通過点として紡いだ大きな足跡は、後世に受け継がれて行く」と記念事業実施の意義を改めて確認し寄せられた熱誠へ感謝の意を表しました。

次いで五本木実行委員長が事業経過報告を行いました。五本木委員長は「平成24年2月に第1回奉賛会実行委員会が開かれ、奉賛会が結成されてよ

り、活動が進められ境内整備事業や式年の諸祭儀が斎行されてきた。勸募活動では氏子6地区の真心籠もる浄財九、四二五万余円が寄せられた。奉祝の祭儀では御鎮座九百五十年式年大祭、同式年奉祝大祭、小笠原流流鏑馬神事の斎行、また境内整備事業では御社殿バリアフリー整備・スロープ工事を中心事業として、外拝殿銅板屋根葺南北翼廊の新設、表参道石階段高欄手摺設置、弓道場振武殿改修工事などを行いました。」と記念事業実施の概要を報告しました。

次いで姉妹友好神社の宮城県竹駒神社、千葉博男宮司の来賓祝辞、感謝状贈呈に続き内山副実行委員長の発声により聖寿万歳を声高らかに奉唱して式典を終了しました。

引き続き記念祝賀会が行われ、玉村副実行委員長の開宴の言葉に続き、瀬沼副実行委員長の乾杯で和やかな懇談に移り、鈴木副実行委員長の中締めめでたく幕を閉じました。



御鎮座九百五十年式年 奉賛者芳名簿(その15)

平成29年4月1日〜平成29年7月31日

(※万円以上のみ掲出、敬称略、順不同)

社務所扱

一金壹百萬円

安藤英雄

一金参拾萬円

株式会社 東石

代表取締役

三好和雄

御鎮座九百五十年式年に当たり
御鎮座九百五十年式年大祭
平成25年5月5日齋行
神社本庁献幣使
田中恆清様

全国八幡宮連合奉幣使
宇佐神宮宮司
六井伸久様

御鎮座九百五十年式年奉祝大祭
平成25年9月15日齋行
神社本庁献幣使
東京大神宮宮司
松山文彦様

小笠原流 流鏑馬神事
平成25年5月26日齋行
神宮撤下御装束神宝 四点御下附神宮司廳
平成27年12月25日
皇大神宮 御神宝 革御鞆 志腰
同別宮風日祈宮 御装束 御鏡 志面
同 御神宝 梓御弓 志張
豊受大神宮別宮 御神宝 御太刀 志柄
月夜見宮

御鎮座九百五十年式年奉祝記念事業
○記念事業の主な概要

一、御社殿バリアフリー化整備
・御社殿北側スロープ設置工事

二、外拝殿南北両翼廊(銅板屋根葺)新設工事
・南北両石階段ケネット手摺り設置工事
・擬宝珠付高欄(檜材)増設工事

三、表参道石階段(一の鳥居・二の鳥居)バリアフリー化整備
・高欄風手摺り(アルミ)及びケネット手摺り設置工事

四、御社殿調度品等調製
・内拝殿外拝殿及び神門門帳の新調
・几帳新調、御銚、御盾、飾弓矢台黒漆塗り替

五、表参道大轆ボール(二対)設置工事
六、弓道場振武殿屋根葺替及び増改築工事

七、結婚式場清涼殿階段バリアフリー化整備
・階段ケネット手摺り設置工事
・結婚式場清涼殿「亀の間」改修工事

八、結婚式場清涼殿ロビー 床及び階段カーペット張替工事

杜の話題

わかば祭り(春の大祭) 斎行

春の大祭(わかば祭り)が5月3日より5日の3日間に亘り執り行われ多くの参拝者で賑わいました。まず、4月29日、昭和天皇のご聖徳をお讃え申しあげる**昭和祭**が斎行されました。次いで3日午後、春の大祭**第二日ノ儀**ごども**祭り**(稚児健康祈願祭)と**稚児行列**が行われ71名のお稚児さんが参列しました。4日は、春の大祭**第二日ノ儀**を斎行。祭典の後、神楽殿にて**第17回若葉inおみや**が開催されました。山本亜美氏の箏の演奏と柴田晶子氏の口笛の演奏が行われ「朧月夜」や「星に願いを」といった日本の調べが箏と口笛によつて奏でられました。また、当宮挙式者の参列もあり、引き続き**第17回挙式者**の集いが清涼殿にて開催されました。午後には、**植樹祭**(献木式)を当宮みどりの会主催のもと執行され、祭典後には参列者の方々に観葉植物が授与されました。最終日の5日は、春の大祭**当日祭(尚武祭)**が斎行され皇室国家の安



泰・氏子崇敬者の繁栄が祈念されました。期間中は、古武道武技奉納、方南エイサー・杉並太鼓の奉納演奏、**大宮八幡植木市**等も開催され終日大勢の参拝者で賑わいをみせました。

第18回裏千家献茶式

第18回裏千家献茶式が5月13日に行われました。茶道裏千家今日庵きょういあん雲斎うんさい千玄室せんげんしつ大宗匠だいたいしやう(先代15代家元)ご奉仕のもと、厳かにご神前に濃茶と薄茶が献じられました。また併せて、裏千家淡交会東京第7東支部の担当主催による奉賛添釜茶会が早朝より開かれ、濃茶席・薄茶席・立礼席の3席が設けられ賑々しく催されました。大宮幼稚園では恒例の幼稚園園児茶席が開かれ緊張し



た面持ちの園児たちが、日頃の練習の成果を披露しました。

振武会 石川武夫先生

傘寿・師範就任十五周年祝賀会



敬神の心を育み、心身の鍛練を目標として日々の稽古に励む振武会は、範士九段石川武夫先生を師範に迎えてから15年を数え、今年も先生の傘寿の祝年でもあり、4月11日に祝賀会を清涼殿羽衣の間にて開催しました。当宮の鎌田宮司も祝辞を述べ、たくさんの門人に囲まれて盛会となりました。これに先立ち弓道場振武殿では、石川先生傘寿・師範就任十五周年記念射会が開催され、会員の祝射に範士九段石川武夫先生は答礼射をされました。

御嶽榛名神社 例祭

例祭

5月16日、御嶽榛名神社の例祭が毛塚鏝一講元、瀬沼宏章責任役員、根岸政明議員各参列のもと、宮司以下祭員により斎行されました。



テレビ朝日「じゅん散歩」撮影

俳優高田純次さんが軽妙洒脱な語り口で和やかに街をそぞろ歩くテレビ朝日の人気番組「じゅん散歩」のロケ撮影が5月29日に行われ、その模様は7月25日に放映されました。



中学生職場体験学習

今年も職場体験に3校の中学生の皆さんが各々来宮しました。神明中学校（6月6日～8日男子2名・女子2名）、泉南中学校（7月3日～5日女子6名）、松溪中学校（7月11日～14日女子1名・男子3名）。神職より白衣袴の着装、境内説明、大祓詞の書写、雅楽の稽古などを受け、また七夕笹飾りの飾り付けや、短冊づくりなども体験しました。



第4回フォトコンテスト

平成28年10月1日より平成29年7月31日までの間、第4回フォトコンテスト開催にあたっての作品を募集致しましたところ近隣の写真店のご協力もあり19名の方々から50点の作品をご応募いただきました。これより作品を選考して秋の大祭期間中から各作品を展示いたします。

神社本庁が主催する「駐日外交官のための日本人とご祈禱に関するセミナー」

6月7日、神社本庁が主催する「駐日外交官のための日本人とご祈禱に関するセミナー」を、当宮で開催。各国の駐日外交官及び大使館関係者ら18人が参加しました。まず、清涼殿羽衣の間にて、裏千家淡交会東京第6東支部の奉仕によるお茶席でおもてなしの後、蓬菜の間にて神社本庁瀬尾芳也教化広報部長と当宮鎌田宮司が挨拶。続いて同部岩橋克二広報国際課長が「A Small Lecture on 御祈禱」と題しての講演を英語で行いました。また参拝作法に関する映像を視聴後、多岐にわたる質疑応答が交わされました。講演後は本殿で参加者の健康祈願祭があり、エルサルバドル共和国の特命全権大使が代表となつて玉串拝礼をされました。



夏越の大祓神事

水無月夏越の大祓神事が、6月30日午後4時より斎行されました。今年前半の知らず知らず身に付いた罪穢を祓い清め、気持ち新たにしている残る半年を迎える行事です。神門前広場の茅の輪前にて、まず、大祓詞を宮司以下祭員、参列者全員で奉唱、切麻（かま）と形代（かたしろ）にて自祓の儀の後、天と地が祓われました。次いで一同は左右左と茅の輪を3度潜り社殿に進みました。大祓神事に引き続き社殿では、大祓修了奉告並びに大祓詞等浄書奉納奉告祈願祭を斎行。6月17日から25日まで開かれた大宮八幡塾水無月書写会（りんどう会共催）で、りんどう会会員をはじめ氏子崇敬者89名が浄書した大祓詞が大前に奉納されました。尚、午前中には大宮幼稚園の大祓式が年少組親子、年中・年長組の2回にわたつて行われました。



英語で行いました。また参拝作法に関する映像を視聴後、多岐にわたる質疑応答が交わされました。講演後は本殿で参加者の健康祈願祭があり、エルサルバドル共和国の特命全権大使が代表となつて玉串拝礼をされました。





国旗協会 「国旗のある自由画 コンクール」 入選作品展

6月18日より7月8日まで全国巡回の、一般社団法人国旗協会主催の「国旗のある自由画コンクール」で金賞・銀賞に入選の作品が神門北翼廊にて展示されました。今回は当宮附属の大宮幼稚園園児の作品が金賞に入選しています。

鎌田宮司東京都八幡会会長に

7月10日、東京都八幡会総会が明治記念館にて開催されました。平岩昌利会長よりのご指名により総会で承認を受けて、当宮鎌田紀彦宮司が東京都八幡会会長に、平岩会長は名誉会長に、又、恵良彰紀副会長は相談役に、矢島嗣久・大村忠両幹事は各々副会長に就任しました。

平安の雅び第19回乞巧奠飾りと 大宮八幡乞巧潜り神事

平安朝の七夕飾りを再現した乞巧奠飾りが、7月1日より15日まで清涼殿ロビーで展示公開されました。乞巧奠は古代中国の牽牛織姫の星祭り伝説とわが国の棚機つ女伝説が結び付いた行事で、当宮では天皇陛下御即位十年を奉祝して、平成11年より行われています。7日の夕刻には社殿にて七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）が斎行され、次いで神門前に梶の葉に七夕人形、

五色の吹き流し、五色の布を垂らした大宮八幡乞巧潜りが設えられ約100名の参加者が神職の後に続いて左右左と3度くぐる乞巧潜り神事を行いました。その後清涼殿ロビーに進み乞巧奠に拝礼を致しました。また神門には、大きな笹竹飾りもつくられ参拝者は銘々に願い事を短冊に書き、満開の花咲くように笹竹が鮮やかに彩られました。1日と8日の土曜日夕方には、乞巧奠前にて雅楽の調べが催され、雅楽の調べと豊栄舞・朝日子舞・浦安舞が奉奏されました。

杉並区神社総代会が

7月14日、杉並区の神社総代会（会長五本木徳治当宮責任役員）が当宮で開催されました。まず、清涼殿蓬莱の間に総会が行われ議事進行ののち、社殿に昇殿し開催奉告参拝、次いで懇親会となりました。区内の神社宮司、総代59名が参集しました。



振武会門人上原忠春氏 駐ジョージア日本国特命全権大使に

7月22日、振武会門人として日頃弓道の研鑽に励む上原忠春氏はジョージア国の駐在特命全権大使として同国へ赴任されることとなり、前日は宮中にて認証式が行われたのち、当宮へ振武会橋本卓爾世話人代表とともに奉告参拝、宮司にも挨拶されました。



第17回納涼大宮天神こどもまつり 「杜のひびきin おおみや」



大宮八幡の夏の風物詩第17回納涼大宮天神こどもまつりが7月24・25日の両日に行われました。24日は氏子青年会の模擬店に多くの子供等が集まり、午後5時30分より宵宮祭を斎行。25日は猛暑の中、大宮天神祭が斎行され、大宮幼稚園をはじめ近隣の子供園、小中学校、女子美術



大学、一般の有志の方々より寄せられた483点331基の書画行燈に夕刻より灯りが入れられ参道・境内を照らしました。又、多くの子供たちが担ぐ**ごもあかりみこし**が今年から1基追加され2基が賑やかに境内を巡行、神門前広場では**子供ミニ花火のつどい**も行われました。午後6時30分より**杜のびびきinおのみや**（時間をはずした日の祭事）が開演。和太鼓の響道宴氏による奉納演奏で、今年は17回目となりました。太鼓チームの阿門、篠笛・能管奏者の武田朋子さん、ギターのミヤケリョウ氏とダンスチームのトリックスターと迫力のある和太鼓のコラボレーションが鎮守の杜に響き渡りました。



大祓形代流し神事旅行

7月27・28日、

夏越しの大祓で納められた形代を灰にしたものを流し清める**大祓形代流し神事旅行**が行われました。今年は22名の参加で、まず茨城県と栃木県の県境に鎮座し、日本一の大フクロウ（不苦勞）像がある、鷺子山上神社を参拝し、福島県内の阿武隈水系の五百川にて形代流し神事を斎行しました。その後、磐梯熱海温泉で湯巡りをして日頃の疲れを癒し、翌28日は浜通りに向かい、国宝白水阿弥陀堂を拝観。小名浜にて海の幸の昼食を満喫して福島の被災地を巡り帰途に着きました。



神門内北側雨水排水工事

7月30日、雨天になると冠水してしまう神門内北側に排水設備の設置に先立ち、神門内北側雨水排水工

事起工清祓式が斎行されました。8月1日より工事が始まり同月末に竣功の予定です。



多摩清水社例祭

8月1日、

葉月朔旦祭に続いて境内多摩清水社の例祭（水神祭）が斎行されました。同社は俳人阿波野青畝に、「広き野に霊の清水のあるところ」と詠まれ、「多摩の大宮」といわれていた武蔵野の風情を残し、今なお御神水が湧き出ています。



第34回戦没者慰霊祭

終戦記念日である8月15日、氏子区域より出征された英霊等をお慰めする**第34回戦没者慰霊祭**が清涼殿特設斎場にて斎行されました。今年



も全国戦没者追悼式に合わせ正午の時報を合図に黙祷、次いで慰霊祭となり当宮と兼務社の氏子地域より出征された英霊329柱に感謝し、慰霊と追悼の誠が捧げられました。

りんどう会だより

鎌田会長 東京都敬神婦人連合会会長に

大宮八幡宮敬神婦人会(りんどう会) 鎌田民枝会長は、7月10日開催の東京都敬神婦人連合会総会において、同会会長に就任されました。

清掃奉仕

わかば祭りを控えて、4月26日に御垣内の清掃が行われました。鎌田会長他22名の会員によって、隅々まで掃き清められました。



第11回総会

6月15日、第11回総会が開催されました。今年で設立11年を数え、宮司・内山責任役員を迎え鎌田会長・五本木副会長以下27名の出席のもと今年度の事業計画などが話し合われました。

水無月書写会

大宮八幡塾 水無月書写会が6月17日から25日まで神社と共催で行われました。

30日の大祓神事の後の大祓浄書奉納奉告祈願祭には、自筆書写の大祓詞89巻が神前に奉納されました。また、前日の29日には大宮幼稚園の園児たちの手作りの飾りが、会員の奉仕によって丁寧に小笹に飾り付けられ、「福笹」として約350体が大祓参列の方々に授与されました。



当会では随時会員を募集しております。ご入会希望の方はお気軽に事務局にお申し出下さい。

氏子青年会だより

大宮天神こどもまつりに



7月24日、25日「納涼大宮天神こどもまつり」に模擬店を出店しました。天候に恵まれ、やさそばやかき氷などが飛び出すように盛況でした。

懇親研修旅行

第3回懇親研修旅行が5月21日、開催されました。早朝まず、道中の安全を祈願して当宮を参拝。宮司、井川会長以下一行23名は群馬県の下野国一之宮貫前神社へ向かいました。正式参拝のち磯部温泉「雀のお宿」で懇親会を開き、夕刻に無事帰社となりました。



毎月・お朔日参りを致しましょう

- 毎月1日 朔旦祭
- 毎月15日 月次祭
- 毎月25日 大宮天神月次祭

ご自由に参列下さい

戌の日詣りは

子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております
ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表 (平成29年9月~平成30年1月)

9月 8日(金)	10月 2日(月)	11月 7日(火)	12月 1日(金)	1月 6日(土)
9月 15日(金)	10月 9日(月)	11月 14日(土)	12月 8日(水)	1月 13日(日)
9月 22日(金)	10月 16日(月)	11月 21日(土)	12月 15日(水)	1月 20日(日)
9月 29日(金)	10月 23日(月)	11月 28日(土)	12月 22日(水)	1月 27日(日)
10月 6日(金)	10月 30日(木)	11月 5日(土)	12月 29日(水)	1月 3日(日)
10月 13日(金)	11月 6日(土)	11月 11日(木)	12月 6日(水)	1月 10日(日)
10月 20日(金)	11月 13日(土)	11月 18日(木)	12月 13日(水)	1月 17日(日)
10月 27日(金)	11月 20日(土)	11月 25日(木)	12月 20日(水)	1月 24日(日)
11月 4日(金)	11月 27日(土)	12月 1日(木)	12月 27日(水)	1月 31日(日)

は大安の日です

大宮八幡の杜 秋も深まり

第39回杉並大宮菊花展

杉並大宮菊の会の主催による杉並大宮菊花展が10月下旬より開催されます。杉並区内外在住の菊の愛好家の方々が月毎に「菊づくり講習会」を開いて丹精込めて作られた様々な菊の大輪が境内を彩ります。特に七五三文字菊は当宮独特のもので、シーズンになるとたくさんさんの七五三詣のご家族がこの前で写真を撮る光景が見られます。



神符奉戴式を斎行

11月初旬には、神宮大麻頒布式並びに氏神社神符等奉戴式が斎行されます。ご神前において大宮大麻・三宝荒神などの神札に御霊遷しをして、神宮大麻と併せて頒布始めの旨を大神様にご奉告いたします。各ご家庭や会社の事務所の神棚に、神宮大麻や氏神様の新しいお札をお祀りして、平成30年の新春を清々しく迎えます。



秋の豊かな実りに感謝 新嘗祭

11月23日の勤労感謝の日には、新穀を神前にお供えし、秋の収穫を感謝する新嘗祭が、午前9時より斎行されます。この祭りは、五穀豊穡を祈る春の祈年祭（春の大祭）と対をなすお祭りです。宮中を始め全国津々浦々の神社で行われます。当宮では、大宮幼稚園の稲田で園児たちが丹精込めて植えて育てた稲穂をはじめ、氏子・崇敬者や企業よりたくさんさんの新穀・神酒、野菜・果物などがご神前に奉納され庭積神饌として拜殿にお供えされます。



第27回杉並花笠祭り

恒例の初冬の風物詩第27回杉並花笠祭りが12月9日（土）に、当宮とサミット株式会社の主催、山形県などの後援で開催されます。当日はまず、杉並花笠祭り開催奉告祭を斎行、その後御神酒の鏡開きや花笠踊りのパレードが奉納されます。表参道では芋煮や地酒が無料で振る舞われ、山形特産の農作物などの露店が立ち並び3万人を超える参拝者で賑わいます。



祝 七五三詣

七五三年齢表

七歳 女児	平成 23 年生
五歳 男児	平成 25 年生
三歳 男・女児	平成 27 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

七五三レンタルプランご予約会

ご予約会日：毎日朝10時～夕方5時まで開催

お子さまの健やかな成長と幸せな未来をお祈りする七五三詣。晴れの日を迎え、お子さま自身もひとつ成長した誇らしさ、可愛らしさで胸を一杯にすることでしよう。だからこそ、大切な記念日を家族皆さまの大きな愛で素晴らしい一日にしてあげましょう。大宮八幡宮で全てをお決め頂ける展示ご予約会のご案内です。七五三のお祝い当日も同じ会場で実施致します。熟練のスタッフが参拝される皆様の大切な記念日をお手伝いさせて頂きます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

平成30 戊戌年

「新春初祈願祭」のご案内

当宮では、平成30戊戌年の新春にあたり、皆様のご健勝・ご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を1月1日午前0時より連日随時ご奉仕させて頂いております。12月1日より授与所にて受付致しております。また企業や団体関係の皆様には、仕事始めの祈願祭の、ご参拝のご予約も承っております。年の初めに、社員・ご関係の皆様お揃いで八幡大神様の御神徳を戴かれ、新しい年が幸多き発展の年となりますよう祈願祭を奉仕致します。



お子様のお健やかな成長をお祈り致します

Table listing names of children and their parents, organized in columns. Includes names like 岡本英大, 石田心人, 今井一花, etc.



年長組になると

絵本のへやで、毎週月曜・火曜・木曜の午後1時から、絵本の読み聞かせがスタートします。何を読むのかは、保育室の前の掲示板に貼られます。1時少し前になると「先生、もう来てもいい?」「今日の絵本、家にもあるよ。」「それ、シリーズもの?」と子ども達がかわい顔のぞかせます。いよいよ読み聞かせがスタートすると、絵本のへやは、満員に! 読んでいる途中で「へえ、そうなの?」「それ、どういう事?」と言葉にしたり、絵本の世界に入り込んで目を輝かせたり、一瞬シーンとして張り詰めた空気を感ずる事もあります。読み終わった後は、一人一人が「えほんカード」のその日読んだ絵本の題名の所にスタンプを押します。スタンプを押す事が楽しみな子もいますが、きっかけは、何でもいので、少しでも絵本に親しんでもらえたい、自分とは違う思いや優しい気持ち、いろいろな結末がある事、世界観を感じてもらえたらと思います。絵本を選



ぶ時、子どもが喜びそうな本、季節に合った本、身近な出来事を題材にしている本、普段味わう事の出来ない世界の本、話題の本、いろいろな作者の本、実話の本などから少し悲しい結末、難しい内容、乱暴な言葉を使っている本を選びます。子どもがその時に感じる気持ちに大人が寄り添ったり、少し言葉をかけてあげる事も大切です。一緒に絵本の世界を楽しみ、大きくなって自分で読めるようになって、時々膝に乗せて読んであげたり、大人が読んでもらうのもいいですね。今、絵本のへやには、何百冊の本があるのでしよう。卒園した兄・姉が、弟・妹に「あの本借りてきてほしい。」「新しい本だね。面白いね。」と伝統が引き継がれていくのも嬉しいです。これからも、浦島太郎の世界が壁一面に描かれている絵本のへやで、ゆっくり絵本を選んで、寝転んで読んだり、ちよつと内緒の話をしたり、少し休憩したり、子ども達の安らぎの場になる事を願っています。

丸山尚子



大宮八幡祭り(秋の大祭) 9月14日~18日

例祭 [15日 午前10時]



宮司以下祭員参進



宮司祝詞奏上



神楽「浦安の舞」奉奏

氏子奉幣祭 [17日 午前10時]

第32回 神輿合同宮入り [17日 午後6時]



奉幣使 氏子幣を奉じて参進



江戸消防記念会による木遣り



9基一斉の神輿振り

奉納神賑行事

氏子町会神幸所

大宮地区

大宮宮元會神幸所

方南地区 (南・北)

峰睦会神幸所

新栄若睦会神幸所

泉南睦神幸所

方南西神幸所

方南東神幸所(上)

方南東神幸所(下)

和田地区 (東・西)

和田睦会神幸所

和田敬神会神幸所

和田仲組神幸所

和田南神幸所

和田東神幸所

松ノ木地区

松ノ木睦会神幸所



杉並太鼓 [16日]



献華いけばな 小原流展 [15~18日]



方南エイサー [16日]



小笠原流草鹿式 [17日]



高井戸囃子 [17日]



野点茶会 [17日]

大宮 第109号
平成29年 秋の大祭号

平成29年9月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話 (3311)0105 FAX(3318)6100

Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp